

新札幌整形外科病院

「整形外科全般に対応し、地域医療に貢献
対話重視で患者のためのより良い診療」

1987年の開院以来、整形外科疾患全般、特に脊椎・関節疾患に専門性の高い診療を行い、身体面と精神面の両面に配慮したサポートで、安全・安心・最良な医療の提供に努めている。

「患者さんとのコミュニケーションを大切に、生活環境や病状に即した治療を行っていきたい」と葛西一元医師。「当院には経験豊富なベテラン看護師が多数在籍しています。また、薬剤師や理学療法士、診療放射線技師など、多種の医療スタッフ同

士が連携し、患者さんのさまざまな要望に耳を傾け、患者本位の治療を優先する。小回りがきく病院であり続けることを心掛けています」と病院の特色を話す。

脊椎・脊髄病をはじめ、スポーツ外傷、膝・足肩・手などの疾患、小児の外傷・骨折にも力を入れる。2015年度(15年1月～12月)の総手術件数は1275件。そのうち脊椎手術は395件、人工関節、靭帯再建などの下肢手術323件、腱板損傷などの上肢手術557件で、疾患部位や損傷部位に応じて治療ができる体制を整えている。また、足底腱膜炎に対する対外衝撃波治療や、自分の血液から抽出した多血小板血漿を患部に局所注射することで、組織の修復を促進させるPRP(自己多血小板血漿)療法を導入するなど、常に先進的な治療を推し進めている。

入院設備88床を有し、診断から治療、リハビリを含め、運動機能回復と早期社会復帰まで一貫した診療を展開するが、難治例や重症患者のケースは大学病院や提携医療機関と連携を密にし、患者にとって最善の治療選択肢につないでいる。



疾患部や損傷部位に応じて、専門的な手術治療も行われる。皮膚や軟部組織のダメージを最小限にする低侵襲手術を目指している



研鑽を重ねチームワーク抜群のスタッフ。「痛みに関する悩みなど、どんなことでも気軽にご相談ください」

吉本尚理事長・院長は、「病ではなく人を診ること、そして、患者さんの生活の質(QOL)を向上させることを大切にしています。今後も患者さんの信頼に応えられるような医療を提供し、『安心した』と来てよかった」といって

もらえる、地域に根差した愛される病院でありたいです」と話す。

理事長・院長 吉本 尚

1990年北海道大学医学部卒業後、同整形外科講座入局。小林病院整形外科部長、札幌通信病院整形外科部長、我妻会えにわ病院整形外科部長を経て、2010年新札幌整形外科病院。16年12月より現職。日本整形外科学会専門医



医師 葛西 一元

1990年弘前大学医学部卒業後、北海道大学医学部整形外科講座入局。北大病院、帯広厚生病院などを経て、2000年新札幌整形外科病院。日本整形外科学会専門医



INFORMATION

所在地 札幌市厚別区厚別南2丁目2-32 ☎011-893-1161
 診療科目 整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、放射線科、麻酔科(中尾幸晴医師)
 診療時間 月～金 9:00～11:30
 14:00～16:30
 土 9:00～11:30
 休診日 日、祝日、年末年始
 駐車場 有(45台)
 アクセス 地下鉄東西線「ひばりが丘駅」3番出口から徒歩3分、JRバス「厚別南2丁目」停下車徒歩1分、中央バス「ひばりが丘駅」停下車徒歩1分
 理事長・院長 吉本 尚
 H P <http://www.s-s-orth-hp.or.jp/>



外来治療や入院手術、リハビリまで、整形外科疾患全般に対応。チーム医療で患者本位の治療を実施